

令和5年度 和歌山市立城東中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 木村 一紀

作成日 令和5年4月5日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 賢い子どもになってほしい
- 優しい子どもになってほしい
- たくましい子どもになってほしい
- 美しく楽しい学校であってほしい

【学校教育目標】

人権尊重の精神を教育の基盤とし、
「自分を大切にし、人を大切にする人間」の育成

【めざす児童（生徒）像】

- ・何事にも耐えぬく心を持ち、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる人
- ・豊かな心情、思いやりの心をもつ人
- ・強い身体と、基本的な生活習慣を身につけた人

前年度の学校評価

- 落ち着いた学習環境が維持されている
- 学校が楽しいと感じている生徒が多い
- 学校教育充実のための条件整備が進むことを望む

児童（生徒）の実態

- あいさつができる
- まじめに取り組むことができる
- 優しく思いやりがある
- 主体的に学習する力がやや弱い
- たくまさがやや弱い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- 思考力・判断力・表現力の育成
- 主体的に学ぶ力の育成

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- 豊かな感性の育成

健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の確立
- 体力向上、健康維持
- 危機回避能力の育成

環境整備、連携・協力

- ◎教育施設・設備の改善
- 家庭・地域・小学校との連携
- 各種人材・資源の活用

具体的な取組

- 学びあいの授業づくりを継続
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底
- 主体的、対話的で深い学びの工夫
- 新学習指導要領による授業の工夫
- ICT機器の活用
- 家庭学習の手引きの見直し
- 補充学習の実施
- 朝の読書活動の継続
- コミトレの継続実施と工夫
- 図書室の整備と利用の継続的推進

- 道徳の授業充実
- 人権特設授業の実施
- 平和学習特設授業の実施
- 修学旅行平和学習の実施
- 職場体験の実施
- キャリア教育の推進の工夫
- いじめアンケート及び教育相談
- キッズサポートスクール、情報モラル教室等の実施
- 文化発表会の実施
- 生徒会活動の工夫と充実
- 国際親善、国際理解教育の継続

- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨
- 感染症防止の学習や取組
- 体育大会の実施と工夫
- 救急救命講習の実施
- がん教育特別授業の実施
- 性教育特別授業の実施
- 昼食指導の実施
- 保健だよりの発行
- 防災学習、避難訓練
- あいさつ運動
- 部活動の実施

- 施設・設備・備品の整備と充実
- 学校運営協議会、育友会との連携
- 学校HP等、学校広報の充実
- 学校開放月間の実施
- 小学校との交流・連携の工夫
- 日本語指導員、訪問支援員、特別支援教育支援員、SC、SSW等との連携
- ゲストティーチャー、部活動指導員や外部コーチ、学生ボランティア等の活用
- 租税教育モデル校

指標

- ・授業が分かりやすいと思う子どもの割合（90%）
- ・学習到達度調査の正答率（平均以上）

- ・学校が楽しいと思う子どもの割合（90%）
- ・情報モラル関係の授業実施回数（5回）

- ・朝ごはんを食べている子どもの割合（95%）
- ・体力テスト結果（平均以上）

- ・学校の様子がよく伝わったと思う保護者の割合（80%）
- ・外部人材の活用数（のべ20件）

◎…特に重点的に取り組むこと